

家庭教育支援の最前線

～これからを生き抜く子どもたちを育てる親が
笑顔になる家庭教育とは～



講師：山下 真理子

(家庭教育支援センターペアレンツキャンプ)

本日の内容

1. 令和の家庭教育支援とは
2. 家庭教育支援とは何か
3. 家庭教育支援の手法
4. 今注目されている家庭教育支援チーム

山下 真理子（やました まりこ）

一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンプ所属
チーフ家庭教育アドバイザー



- ・ペアレンツキャンプ所属9年目。
- ・過去の支援件数 約250件

ペアレンツキャンプはカウンセラーの対話スキルや子育て理論を取り入れたPCM（親のカウンセリング）というオリジナルメソッドで通信添削型家庭教育支援を行っている（イメージは子育ての赤ペン先生）。

支援現場では保護者に寄り添い日々の悩みを傾聴するカウンセリングだけではなく、「どのように対応をすれば子どもの自立をはぐくめるのか」などを具体的にアドバイスしてきました。長年臨床現場で培った経験やスキル、メソッドを用いて楽しく学べる家庭教育や、心理学などを解説するセミナーの講師をお引き受けすることが多いです。



YouTube

第7回 全国家庭教育支援研究協議会

テーマ別研究協議②
事例報告

「家庭訪問による効果的な
家庭教育支援の充実に向けて」

<事例報告④>
水野 達朗 氏 一般社団法人家庭教育支援センター
ペアレンツキャンプ代表理事

0:04 / 20:08

令和元年度「全国家庭教育支援研究協議会」

保護者に寄り添う “アウトリーチ型支援”の 普及・定着に向けて

※ここでは、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者の悩みの場(自宅や学校、乳幼児健診の場など)に出現して、保護者に寄り添って行う家庭教育に関する支援一般を指します。

～子育てに関する保護者の悩みや不安を解消し、子供たちの健やかな育ちを支えるために～

家庭を取り巻く環境の変化(共働き家庭やひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化など)や、子供の育ちをめぐる課題(不登校、いじめ、児童虐待など)が顕在化する中、家庭教育に関する支援が届きにくい家庭への対応を充実するため、地域の実情に応じた“アウトリーチ型支援”の普及・定着に向けて、その意義や実施方法等を協議します。

なぜ今アウトリーチ? 何をどうやるの? どんなことに気をつけるの?

YouTube

令和元年度「全国家庭教育支援研究協議会」
ワークショップ

一般社団法人
家庭教育支援センター
ペアレンツキャンプ代表理事
水野 達朗 氏
<ファシリテーター>

0:39 / 13:57

日時 令和2年 2月18日(火) 10:00~16:15

場所 文部科学省 東館3階第1講堂

参加者 行政関係者、民間団体や地域における関係者等

定員 300名

参加費 無料 申込方法 裏面参照

プログラム

9:30	受付(表彰受賞者は9:10~9:30)
10:00	開会
10:10	令和元年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰
10:45	事例報告(80分)(具体的な取組事例を報告していただきます) 茨城県、山口県・岩国市、訓路市(北海道)、泉大津市(大阪府)、湯浅町(和歌山県)
11:00	昼食休憩
12:20	パネルディスカッション(60分) 「アウトリーチ型支援」の具体的な実施方法などを協議します 【コーディネーター】 水野 達朗氏 (一社)家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事 【パネリスト】 事例報告を行った各自治体の関係者
13:30	ワークショップ(90分) (参加者全員がグループに分かれて、地域の実情に応じた“アウトリーチ型支援”の実施方法などを協議します)
14:45	【ファシリテーター】 水野 達朗氏 (一社)家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事
16:15	閉会

主催 文部科学省 協賛 厚生労働省 協働(有) 文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課 家庭教育支援室 TEL: 03-5253-4111 (代)

本日の内容

1. **令和の家庭教育支援とは**
2. **家庭教育支援とは何か**
3. **家庭教育支援の手法**
4. **今注目されている家庭教育支援チーム**

昭和



平成



令和



子どもたちを取り巻く社会が変化していく以上、家庭教育の手法や支援のカタチも変化していきます。支援者としてはこのような社会の変化も考慮する必要があります。

社会の変化に合わせて子育てはアップデート。
ただ、子どもを育てる上での
本質的なものは変わりません。

変わってはいけ
ないもの
子どもの
自立や幸せを
願う親心。

変わらなくてはい
けないもの
時代に
合わせた
子育て手法。

2007年 YouTubeが
日本語版のサービスを開始





VR (仮想現実)

コンピューターが
創った世界に
入り込める。



AR (拡張現実)

CG等を現実世界に
重ねて表記させる。
(例) ポケモンGo

2014年 Instagramが
サービスを開始

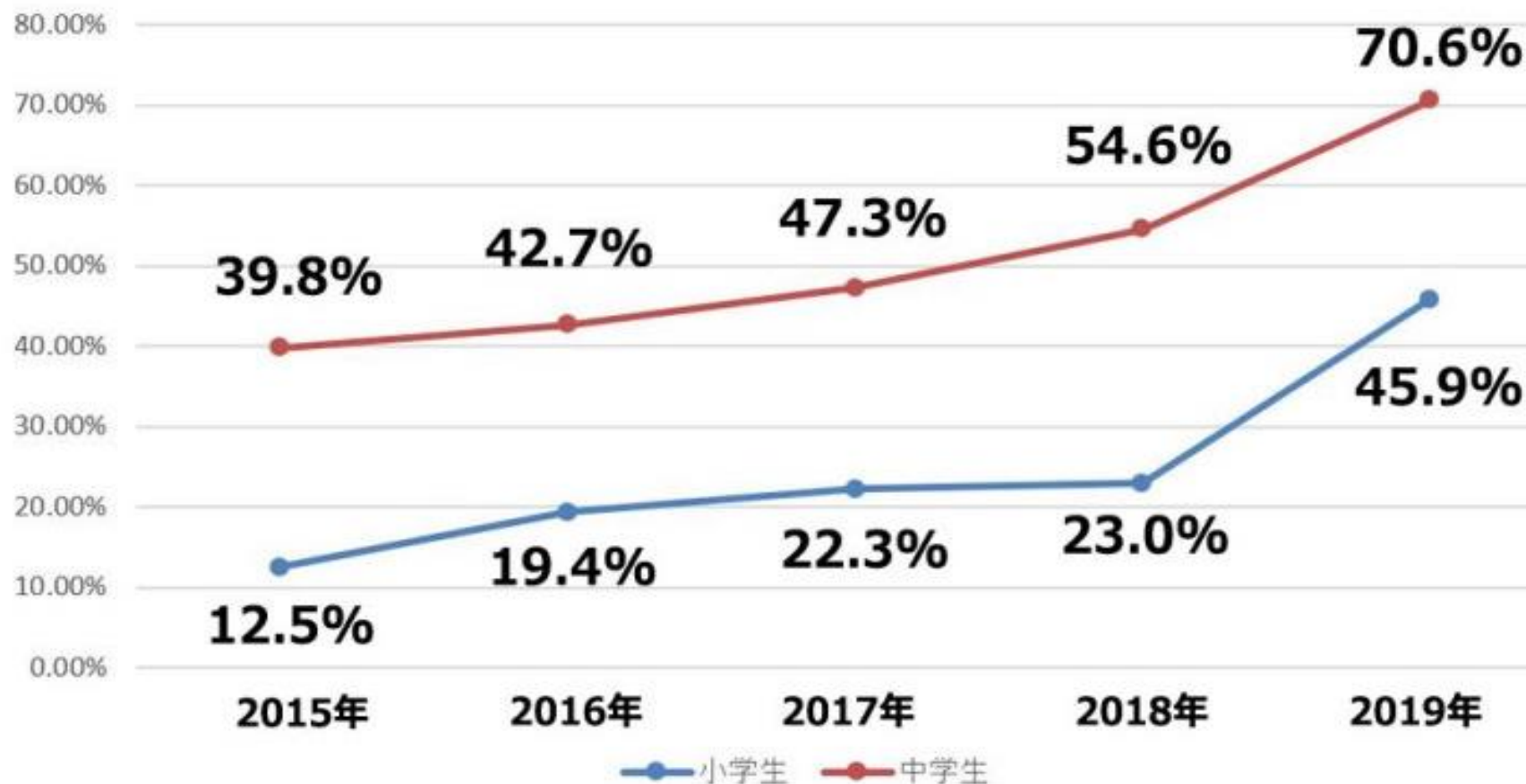
2017年 Tik Tokが
サービスを開始

The image features the TikTok logo, which consists of a stylized musical note with a cyan-to-red gradient and a white-to-red gradient shadow, set against a black background. Below the logo, the word "TikTok" is written in a white, bold, sans-serif font.

TikTok

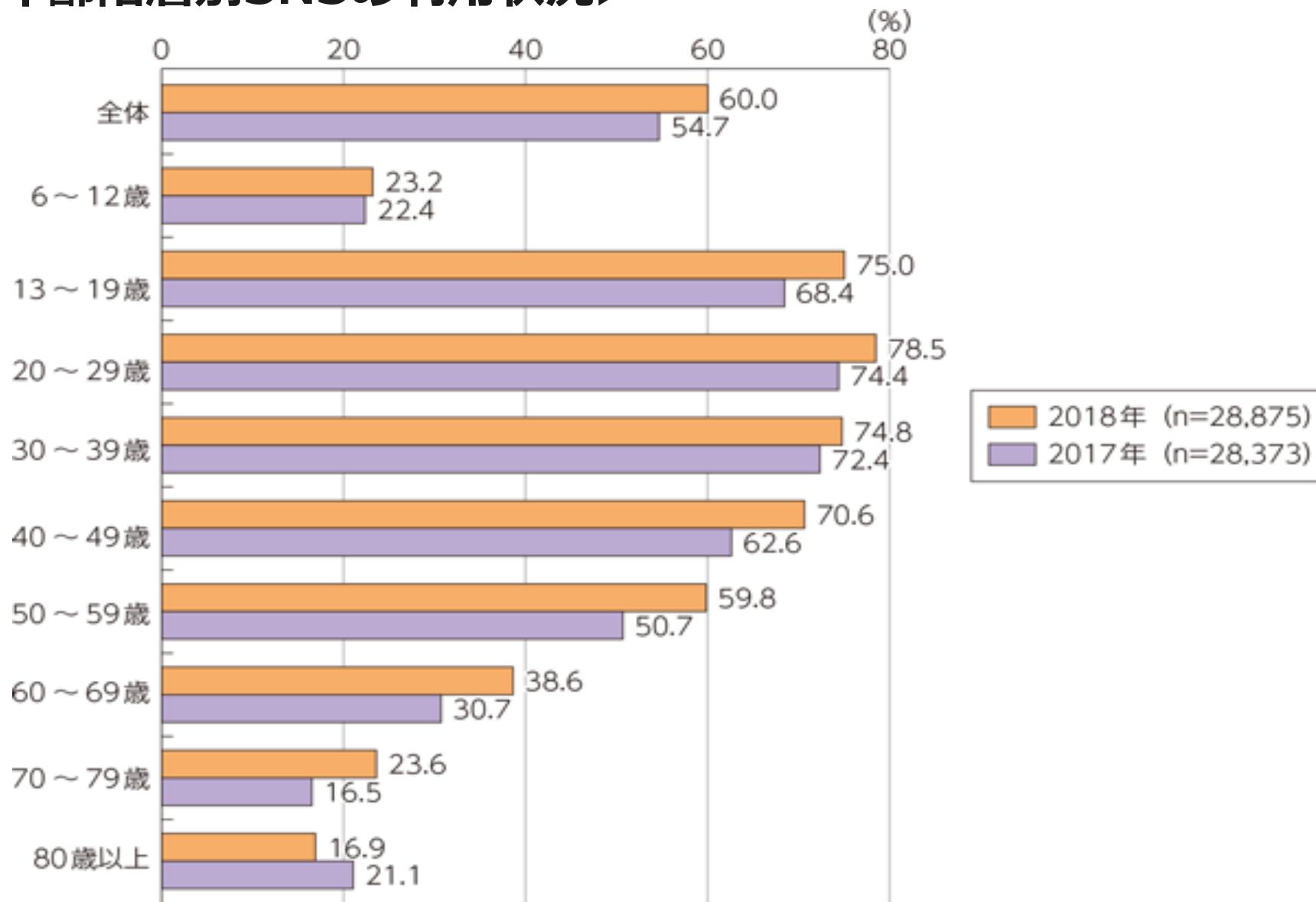
小中学生のスマホ所有率が急激に増加しています。
2019年は**20%**以上も増加。

＜小中学生のスマホ所有率の推移＞



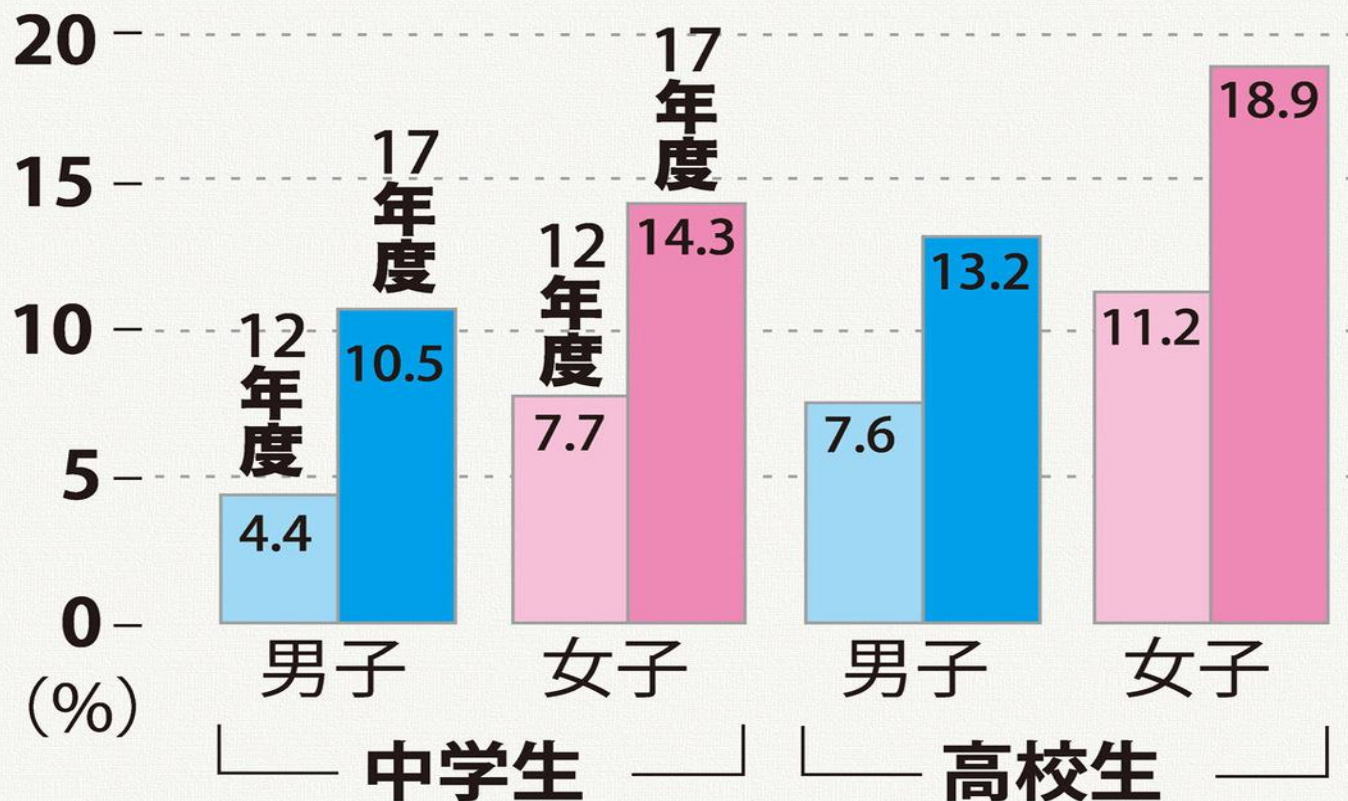
＜内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」より＞

＜年齢階層別SNSの利用状況＞



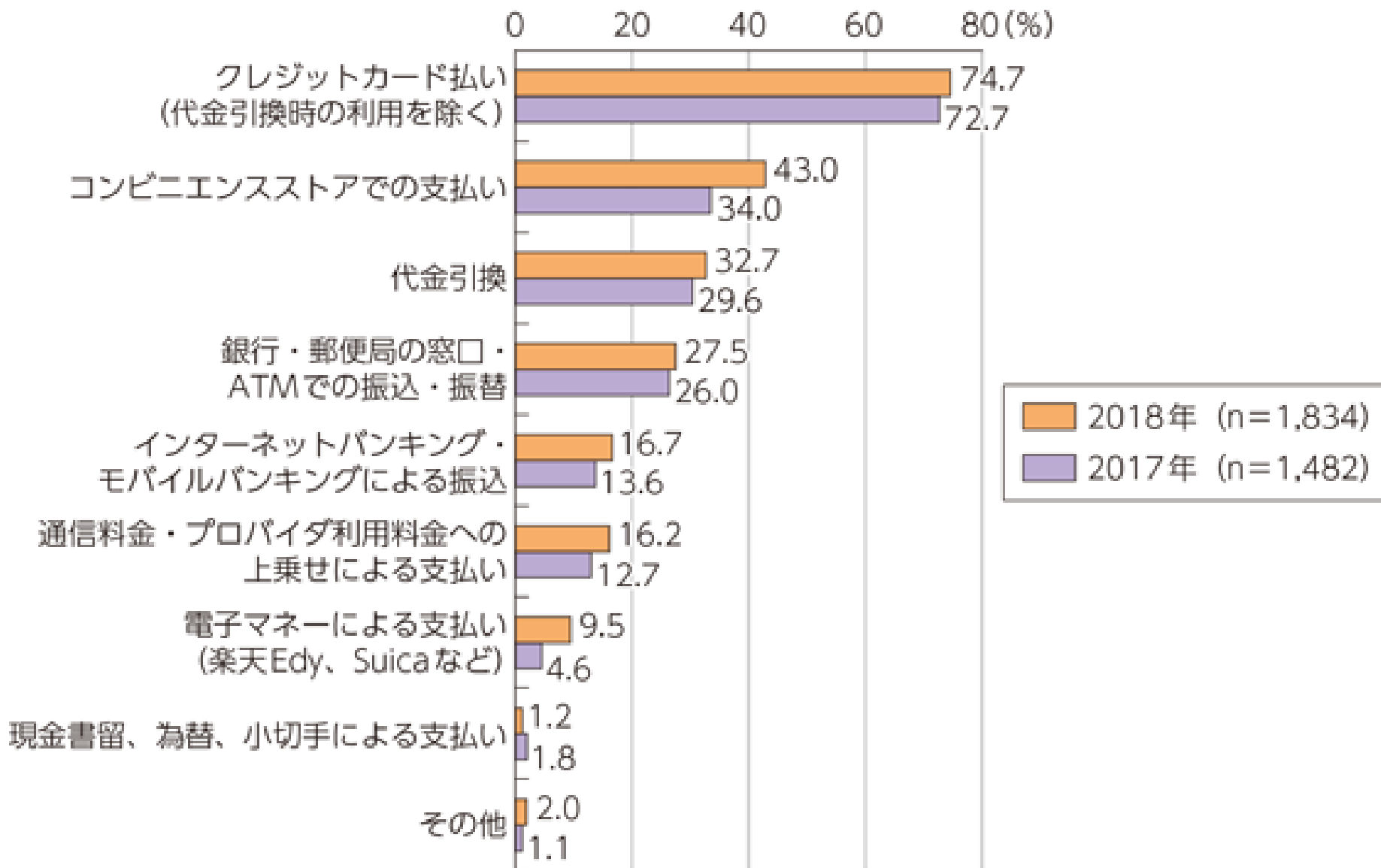
ネット依存の中高生の推計が大幅に増加 **約93万人**
(前回調査<2012年>では約51万人)

【インターネット依存が疑われる中高生の割合】
(病的使用者)

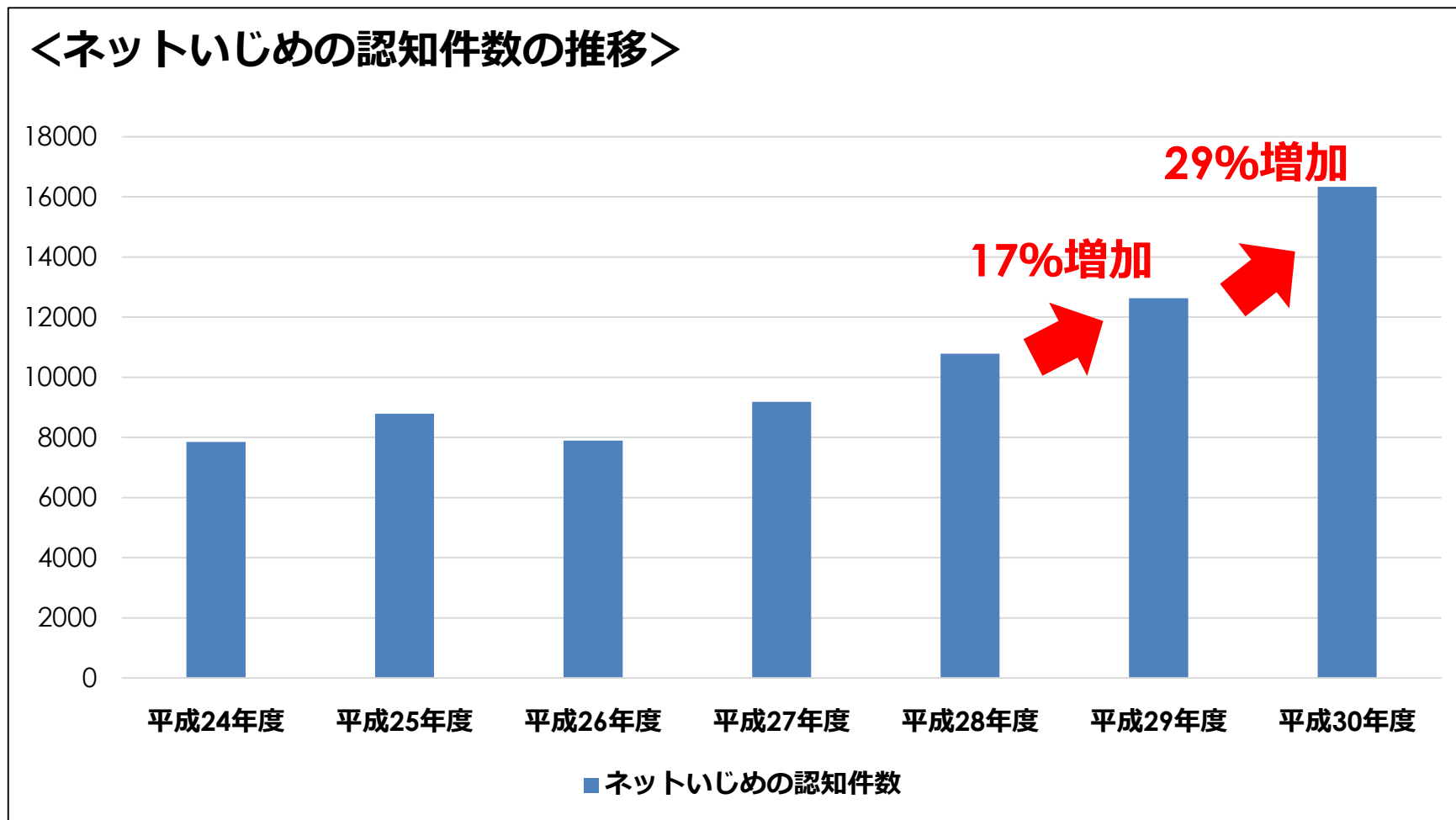


<厚生労働科学研究成果データベースより>

＜決済方法は「クレジットカード払い」が約7割＞



スマホ普及が進んだ平成27年からネットいじめも急増し、平成30年は1万6000件を超えました。



<平成30年度 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」より>



技術が進化し社会が変わることで、子どもたちの遊び方やコミュニケーションの手法も変化してきています。



<ゴールから考える社会で生きるための力>

これからの社会は私たちの想像以上に**急激に変化**していきます。

想定外の課題に直面することも多く、試行錯誤しながら、自ら人生を切り拓いていく子に育てていきたいのが親心です。

親は学力も大切だけれども、総合的な力
(社会で生きる力)を培ったうえで子どもには幸せになってもらいたいという想いを持っています。

全く同じ学歴で入社したのに...

Aさん
東大出身
入社試験も優秀

Bさん
東大出身
入社試験も優秀

同じ会社に同期で入社して3年後



会社で重要な
仕事を任せられ
活躍



会社に馴染めず
仕事も失敗ばかり
思い悩んで退社

このように同じような学歴でも仕事で結果を出す人と出さない人がいます。どのような要因が二人のキャリアを分けたのでしょうか？

この差を生み出しているのが、生きる力。

必要な生きる力として様々なものが提唱されていますが、その中でも、**自立ができていないケースが増加**していると近年言われています。

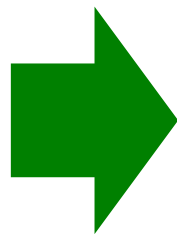
子育ての究極の目標は

もし、親が明日
死んでしまったとしても、
残された子どもが
生きていけるように
してあげること

親の子育て観をアップデート！



**親は完璧。
頼らず子育て。**



**親は完璧ではない。
頼って子育て。**
(学校・地域・友人・支援者等)

**親が頼ることができる支援の仕組みが
求められるようになってきています。**

これからの社会で生き抜くための総合的な力を伸ばすには「家庭でどのように子どもを育て、導くのか」などの親側の**明確な家庭教育のビジョン**が重要になります。

「親が学べば子も伸びる」ということを意識して家庭教育に取り組みましょう。

次からは「家庭教育支援」についてと、子どもを取り巻く「地域・家庭・学校」の状況がどのようなになっているのかについてお話します。

本日の内容

1. 令和の家庭教育支援とは
2. 家庭教育支援とは何か
3. 家庭教育支援の手法
4. 今注目されている家庭教育支援チーム

想像してみてください

小学校1年生の教室に
幼稚園の年中さんがいたら
どうなるでしょう？



家庭教育の取り組み方によって、子どもの年相応の自立や社会性等にバラツキが出てしまいます。



これからの時代で、社会で生きぬく力を伸ばすには、その土台となる年相応の自立や社会性を家庭で身につけさせることが重要です。



特に進学や就職等の環境が大きく変化する時はこの自立や社会性のバラツキの影響を大きく受けてしまいます。

法律上の家庭教育の定義

<教育基本法>

第10条 (家庭教育)

父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

<近年の家庭を取り巻く課題>

- 核家族化
- 地域とのつながりの希薄化
- 親の孤立化
- 身近に親としての手本がない
- ネット等で子育て情報だけが氾濫



ワンオペ
育児

孤育て

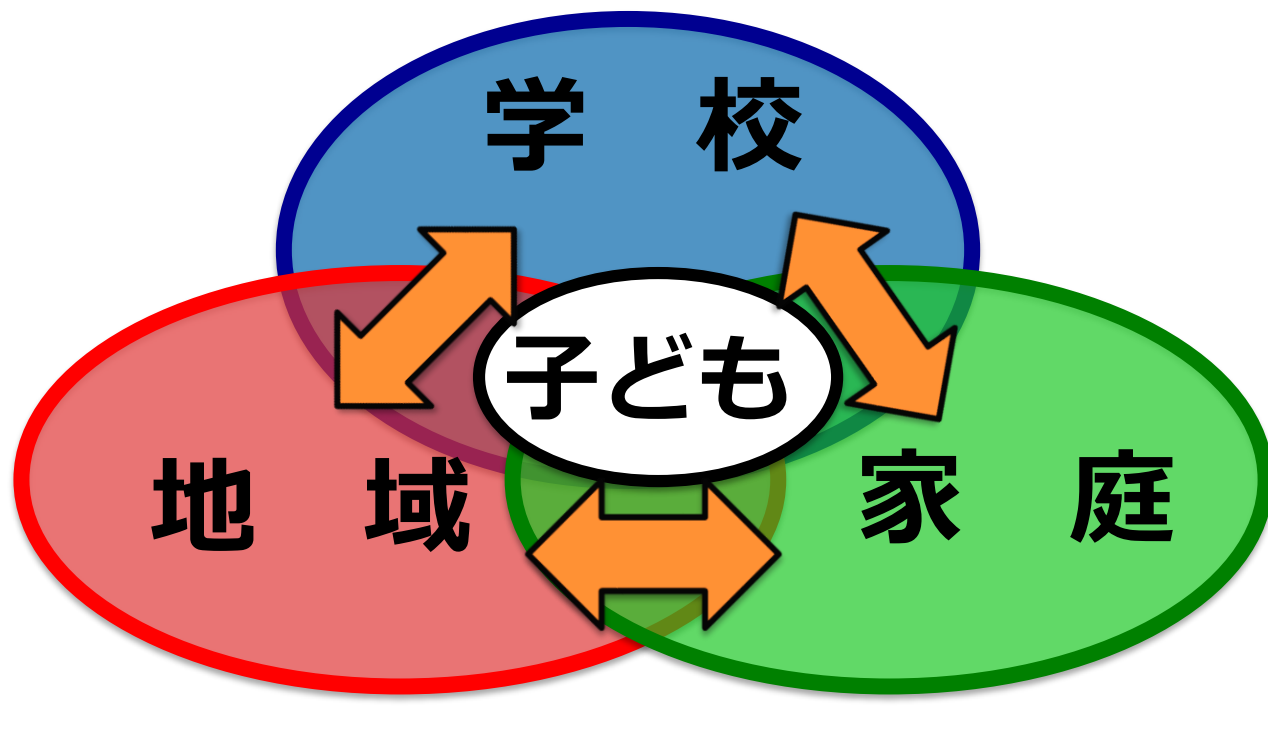


孤立化し誰にも頼れず、悩み戸惑いながら
子育てをしている親御さんが数多く存在しま

す

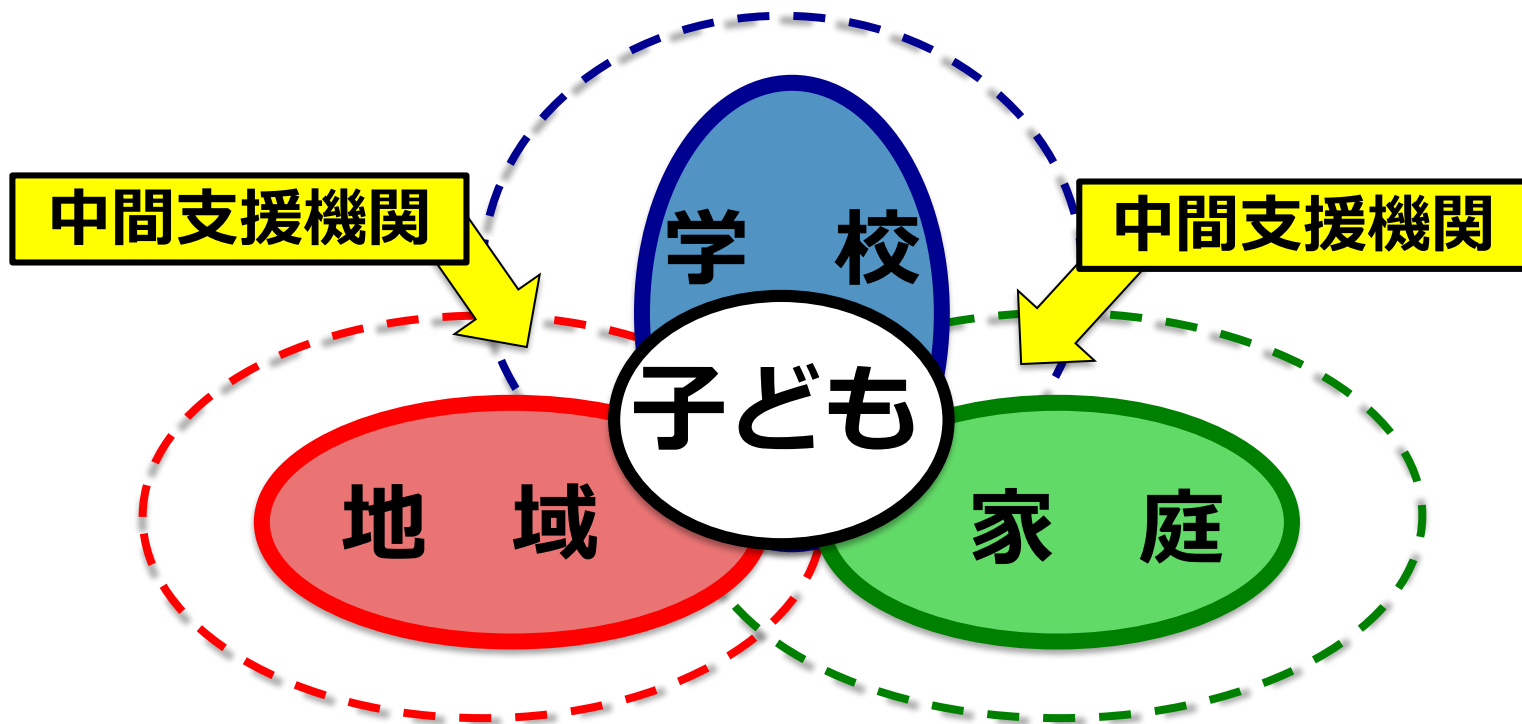
昔

家庭・学校・地域が支える力が強く
相互連携がはかられています。



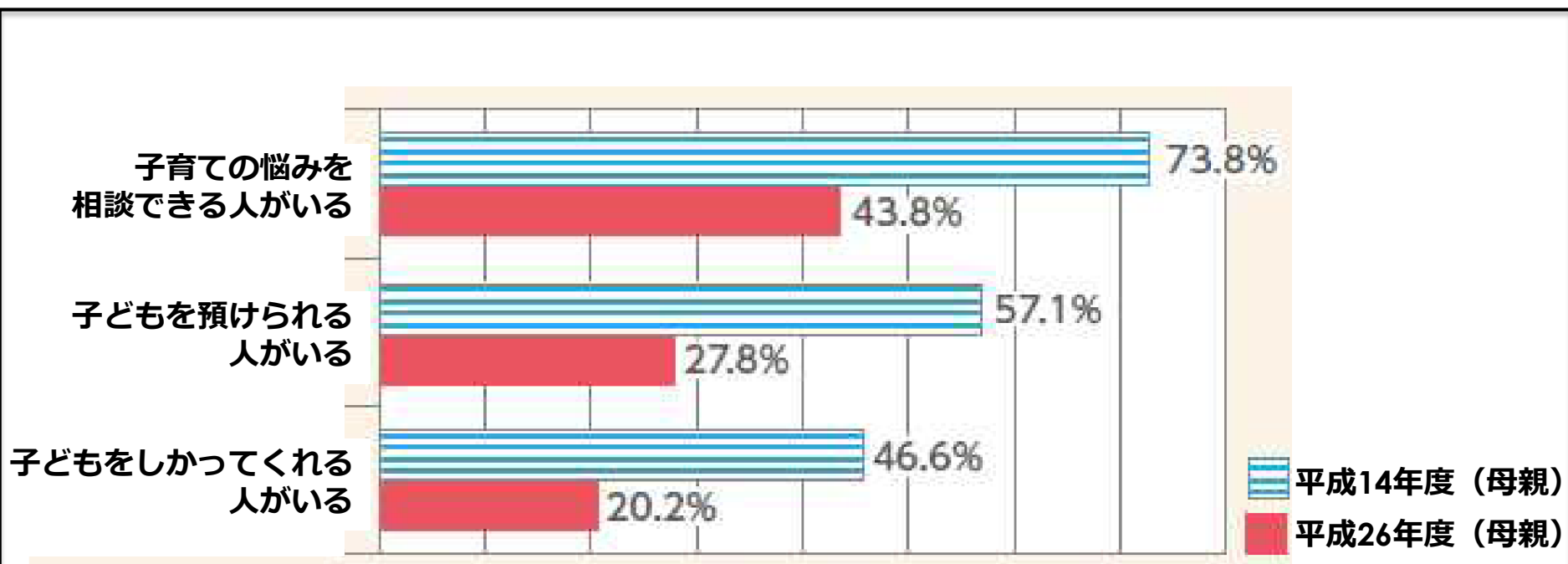
現在

家庭・学校・地域が支える力が弱くなり、相互連携もはかれなくなっています。
その隙間を中間支援機関（塾・民間支援機関・行政の支援チーム）が埋めています。



家庭、学校、地域それぞれが孤立化
特に教育の最小単位の**家庭の孤立化は危機的状況**

<地域社会のつながりの希薄化>



(株)UFJ総合研究所「子育て支援策に関する調査研究」(厚生労働省委託) <平成14年度>
三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子育て支援策等に関する調査2014」 <平成26年度>

地域の中での子どもを通じた付き合いが減少しています。

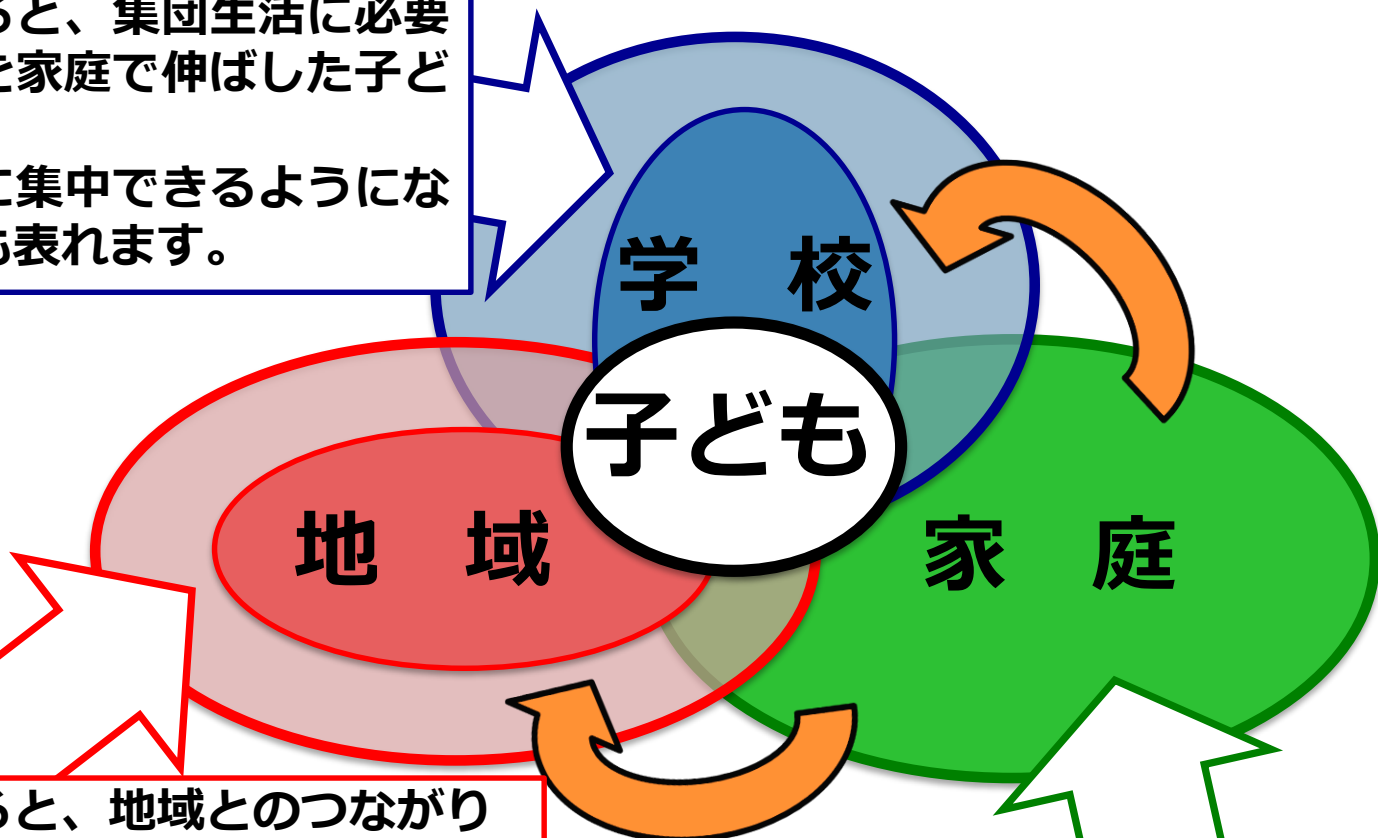
将来

全ての教育のベースとなる家庭教育を支援することで、
地域・学校・家庭それぞれの教育力が高まります。
再び家庭・学校・地域が相互連携をはかれるようになります。

家庭教育が充実すると、集団生活に必要な自立心や社会性を家庭で伸ばした子どもが増えます。
教師が学科指導等に集中できるようになり、学力向上効果も表れます。

家庭教育が充実すると、地域とのつながり方を親が知り、地域を活用することができます。意識の高い親が増えることで、地域教育力が伸びます。

家庭教育が充実すると、自立心や社会性、生活習慣や規律教育などの効果が子どもたちにあらわれます。



家庭教育支援は地域のニーズに合わせて様々な形で取り組む事ができます。

子育てサロン

子育て
セミナー

家庭に対する
個別訪問

学生に対する
講座

リーフレット等
による啓発

電話や来談での
個別相談

本日の内容

1. 子育てのゴールとは
2. 家庭教育支援とは何か
3. 家庭教育支援の手法
4. 今注目されている家庭教育支援チーム

民間の支援機関 ペアレンツキャンプの概要

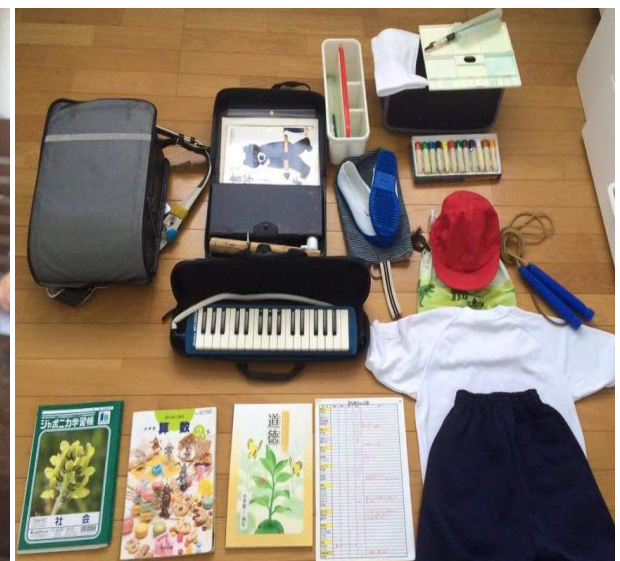
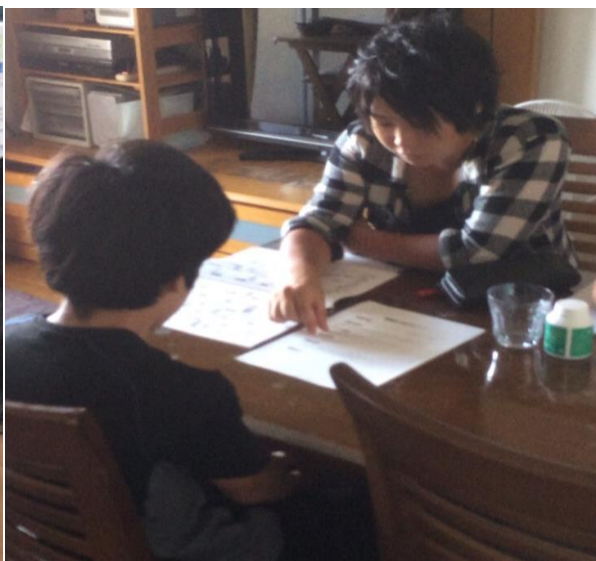
ペアレンツキャンプは訪問カウンセリングの手法を用いた復学支援と通信添削型の家庭教育支援を行っている支援機関です。

～ペアレンツキャンプのコンセプト～

「親が学べば子は伸びる、親が変われば子も変わる」

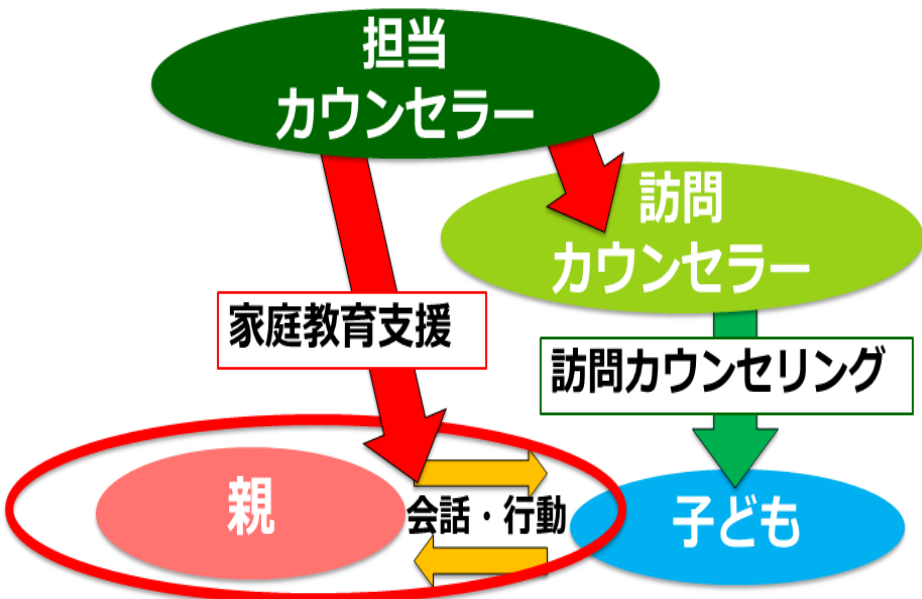
～ペアレンツキャンプの支援手法の特徴～

- ・ 家庭教育支援と訪問カウンセリングを組み合わせることで**不登校の子どもの復学率が95%超**
- ・ クラウドを用いた**通信添削型の家庭ノートチェック法**でいつでも、どこでも支援が受けられる
- ・ 自立や社会性を家庭で育むPCM（親のカウンセリングマインド）を学ぶことで**子どもの問題行動を未然予防**

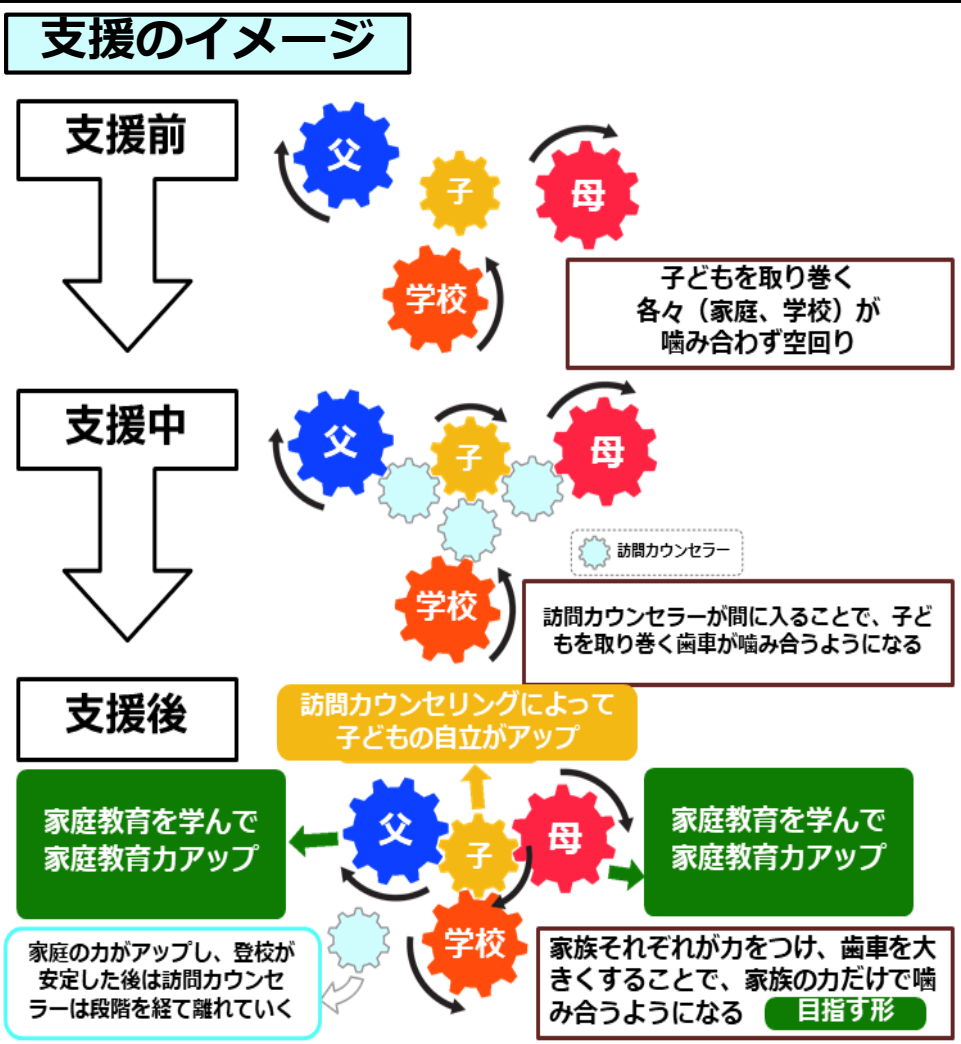




ペアレンツキャンプの復学支援は家族の力で問題を乗り越えられるようになるまで、あらゆるサポートをします。寄り添い、成長を見届けた後は離れていきます。

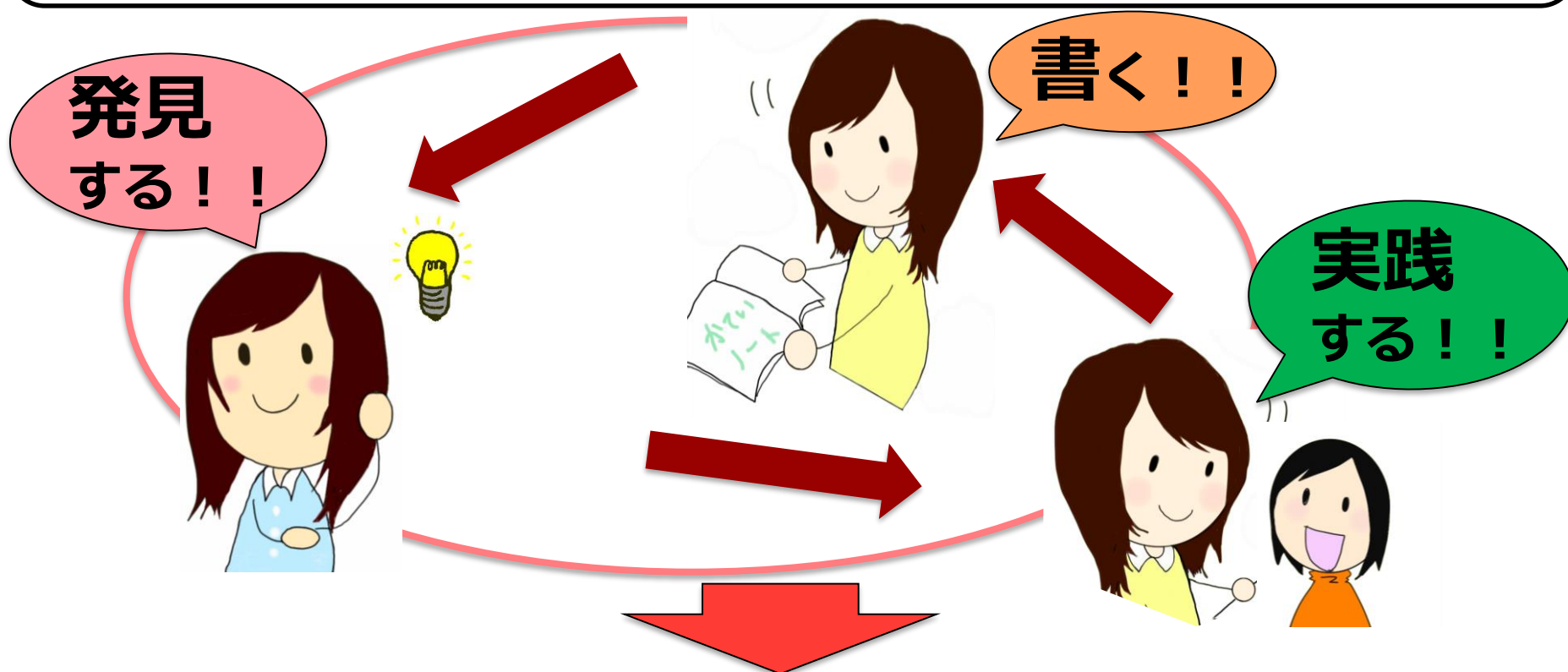


このように訪問カウンセリングと家庭教育支援を組み合わせているのが私たちの支援の特徴です。



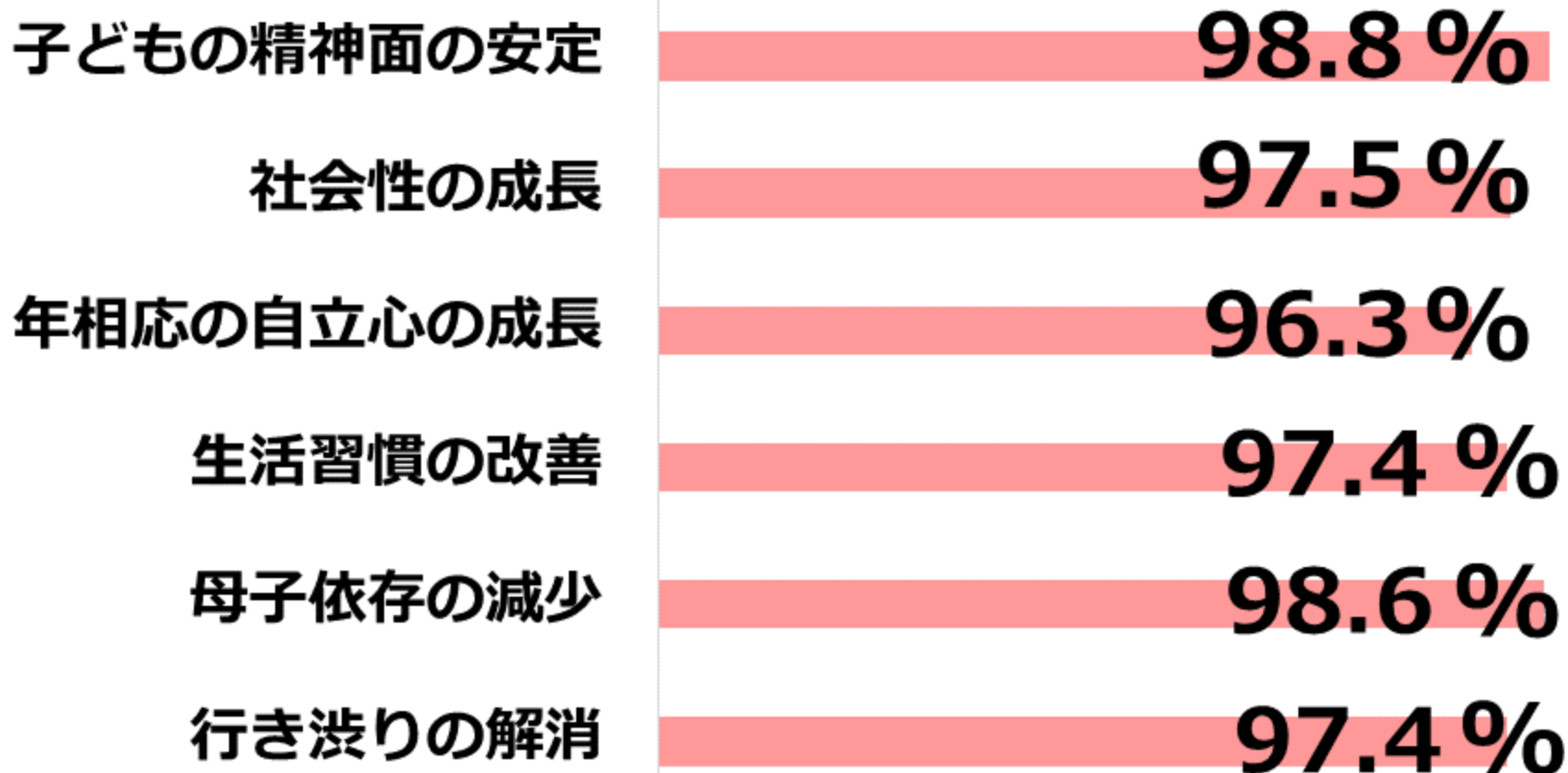
家庭ノートチェック法とは

家庭ノートチェック法は家庭での親と子のコミュニケーションを記録し、専門家による分析や具体的なアドバイスを受け、日々の子育ての実践の中で家庭内の対応法を学ぶことができる手法です。



このサイクルを繰り返すことで
親も子どもも成長できます！

家庭ノートチェック法を取り入れてどのような変化がありましたか？
<ペアレンツキャンプクライアント調査>より N=314 (2019年)



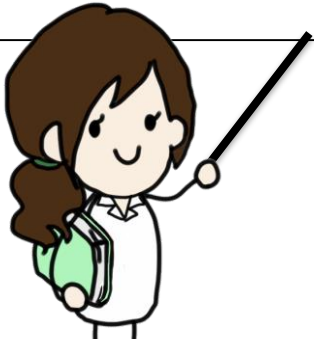
支援家庭の95%以上で行き渋り、母子依存、生活習慣の改善等の直接的なリスク軽減にまで効果があったという回答が得られました。

親のカウンセリングマインド（PCM）は私たちの家庭教育支援のメソッドです。

PCM（Parents Counseling Mind）の理論は、
カウンセラーの対話スキル、基本的な子育て論等を
組み合わせて家庭内で実践しやすい形に変えたものです。

PCMは

- 不登校等の子どもの課題を予防する
- 子どもの自立心や社会性を伸ばす
- 学ぶことで親が子育てに自信が持てる



PCMの理論には以下のような11本の柱があります。

- 1 アクティブリスニング
- 2 アイメッセージ
- 3 命令・指示・提案を極力避ける
- 4 子と同レベルの言い合いをしない
- 5 親の問題と子の問題を分けて考える
- 6 先回りしてものを言って子どもの経験を奪わない
- 7 不足不満を言わない
- 8 親の価値観を押しつけない
- 9 悲しいときには悲しい顔で、うれしいときにはうれしい顔で
- 10 叱り役の立場を下げない
- 11 ターンテーキング

小学生家庭の朝の あるある会話！

チェック前



時間	人	会話内容・簡単な状況説明	感想・質問・備考／添削
7:55	母	時計見てる？いつも言ってるけど早くでなくちゃ	
	子	もお。わかってるって！	
	母	わかってるならはやくランドセル背負いなさい	
	子	うるさいなー。まだ時間あるって	
7:58	母	体操服入れた？	
	子	入れたって！朝からうるさいねん！	
	母	何！？	
	子	・・・（乱暴にドアをしめて登校）	

黒文字は親による家庭ノートの記入
赤文字は家庭教育アドバイザーのチェック

チェック後



時間	人	会話内容・簡単な状況説明	感想・質問・備考／添削
7:55	母	<u>時計見てる？いつも言ってるけど</u> <u>早くでなくちゃ</u> × 過干渉！	お母さんが毎回言うと、子どもも時計を見ようとしません。 本人も「まだ時間ある」と言っています。指示はせず、見守ってみましょう！
	子	もお。わかってるって！	
	母	<u>わかってるならはやくランドセル</u> <u>背負いなさい</u> × メシテイ！	
7:58	子	うるさいなー。まだ時間あるって	忘れ物をしたという失敗経験が子どもを伸ばす第一歩ですよ！ 言わない！
	母	<u>体操服入れた？</u> × 先回り！	
	子	入れたって！朝からうるさいねん！	
	母	<u>何！？</u> × 子と同レベルの言い合い！	言い返したくなる気持ちはわかりますが、ガマン！！
	子	・・・（乱暴にドアをしめて登校）	



チェック要素を受けて 親が対応法を変えたケースの家庭ノート例

時間	人	会話内容・簡単な状況説明	感想・質問・備考／添削
7:55	母	(いつもこのタイミングで声かけしていたがまだ待つ) OK	<p>ギリギリまで声をかけずに見守ることができていますね！</p>
7:58	母	58分だよ。(冷静に) OK	
	子	うん~ (テレビ見ながらランドセルを背負う)	
	母	(見守る) OK	
	子	(体操服を玄関に置いたまま) 行ってきまーす！	
	母	(体操服を忘れているのに気づくがお口チャック) 行ってらっしゃい。 OK	失敗経験をつませようとしていますね！
8:00	子	(戻ってきて) 体操服忘れた！行ってきます！	<p>「忘れてるよ」と言わなくてよかったですね (^_^) 自分で気付けてましたね！</p>
	母	体操服忘れたのね。気づいてよかったね。行ってらっしゃい。 OK	

子どもを持つ親にとって
どのような悩みがあるでしょう？

いうことを
聞かない

宿題をしない

生活がルーズ

兄弟げんか

不登校

発達の悩み



ペアレンツキャンプ相談内容ランキング

1	ゲームの取り扱い
2	スマホの取り扱い
3	過度な母子密着
4	家庭内のルールについて
5	宿題・翌日の準備をしない
6	テスト勉強をしない
7	兄弟げんか
8	生活リズムの乱れ
9	親への暴言・家庭内暴力
10	家族と食事を食べようとしていない

家庭教育支援 過去事例

小5 男子

「ゲームがやめられない！」

自分の思い通りに物事が進まないとき親に暴力を振るったり暴れてしまう

小1 男子

「お母さんと一緒にないと学校に行けない！」

授業参観でない日に母親が子に付き添い終日学校に居なければならない

中1 女子

「SNSで知らない人とのつながりがある」

子どものICT活用能力が親よりも高くなってしまった

中2 男子

「メルカリでお小遣いを稼ぎ課金してしまう」

祖父の家から物を盗り、勝手にフリマアプリに出品

本日の内容

1. 令和の家庭教育支援とは
2. 家庭教育支援とは何か
3. 家庭教育支援の手法
4. 今注目されている家庭教育支援チーム

文科省は、平成20年度より、すべての親が安心して家庭教育を行うことができるように地域人材を活用した「家庭教育支援チーム」を核とした支援モデルを全国的に推奨してきました。

<家庭教育支援チームとは>

家庭教育支援チームは孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者等、学習機会の確保が難しい保護者への支援を行います。

保護者の多様なニーズに応えるために、子育て経験者をはじめとする地域人材を中心に、教員OBやスクールソーシャルワーカー、民生児童委員等の様々な人材によって家庭教育支援チームは構成されます。

<家庭教育支援チームの役割>

① 保護者への学びの場の提供、情報提供

- ・ 子育てセミナーの開催
- ・ 参加型研修会の開催
- ・ 子育て情報誌等の作成
- ・ 子育てに役立つ情報の発信

② 地域の居場所づくり及び、相談対応

- ・ 子育てサロンの運営
- ・ 親子参加型プログラム
- ・ 子育て拠点での相談対応
- ・ SNSを活用した保護者のつながりの場の提供

③ 訪問型家庭教育支援

- ・ 家庭への戸別訪問
- ・ 子育て情報の提供
- ・ 専門機関への橋渡し
- ・ 地域社会や学びの場への接点づくり

<家庭教育支援チームに求められる要素>

当事者性	保護者と同じ目線で寄り添います。
地域性	地域の課題を共有し、地域の身近な存在となります。
専門性	業務によっては専門的な能力・スキルが求められます。

※この3つのバランスが重要

チームが3つのバランスを維持していくために、チーム員同士が情報や経験を共有し、互いに学び合っていく場を設けることが重要です。

なぜ、家庭教育支援チームで取組むことが重要なのか

- チームが間に入ることで、教育部局と福祉部局など様々な行政内のセクションや関係団体をつなげることができます。
- チームとして専門家や地域の人々が一緒に活動することで、行政単独では解決が困難な保護者等の悩みに対してもアプローチできます。
- チームとして活動することで、地域について共に考え、支え合いながら活動することができます。
- チームとして活動することで、チーム員それぞれの得意分野や創意工夫を生かすことができます。
- 地域のために何かしたいという人材の受け皿になり、地域に根差したまちづくりにつながります。

様々な専門家や地域人材が**家庭教育支援チーム**として一緒に活動することで、近年ニーズが増加している**訪問型家庭教育支援**等を効果的に行うことができます。

<訪問型家庭教育支援とは>

保護者の多様なニーズにこたえるためには、子育て経験者をはじめとする地域人材を中心として、教員OBやスクールソーシャルワーカー、民生委員、児童委員などの参画を得て、保護者の身近な地域で子育てや家庭教育を支援する活動を行う**家庭教育支援チーム**を作ることが効果的です。

こうした**家庭教育支援チーム**等が家庭を訪問して個別の相談に対応したり、情報提供を行ったりする活動のことを訪問型家庭教育支援と呼びます。

< 訪問型家庭教育支援のイメージ >



家庭教育支援チーム型支援が求められる背景：**保護者のニーズの変化**

これまでの家庭教育支援は保護者が能動的に参加するタイプが中心でした。

参加型の家庭教育支援とは

～具体例～

- 家庭教育学級
- 家庭教育講座
- 子育てサロン
- 親子体験学習

等

～目的～

- 家庭教育の学習機会の創出
- 家庭を地域等のコミュニティにつなげる
- 家庭教育の情報提供

近年は保護者のライフスタイルの変化にともない、参加型の家庭教育支援に関する課題が指摘されるようになってきました。**学びの場の提供の危機**

他地域からの転入者なので
地域とのつながりがない

仕事が忙しいので
時間が取りづらい

コミュニケーションがSNS中心で
直接話すのは苦手

子育ての悩みや相談を
直接相談できる人が身近にいない

課題・参加型の支援だけでは保護者のニーズとうまくマッチングしないことが多い。

- 行政が学びの場を提供しても意識の高い保護者しか集まらない。
- 本当に来て欲しいのは意識の低い保護者。

参加型の家庭教育支援がうまくマッチングしない保護者には訪問型家庭教育支援が効果的です。

～訪問型家庭教育支援の特徴～

- 忙しい保護者にとって時間や場所等の都合が良い。
- 保護者の悩みや相談に直接耳を傾けることができる。
- 保護者が話しやすい環境になる。
- 支援員と保護者が信頼関係を築きやすい。
- 支援員が家庭の状況や課題を把握することができる。
- 保護者のニーズに合わせたイベントや学習機会等の情報提供が行いやすい。
- 保護者のニーズに合わせて専門機関へ橋渡しすることができる。

訪問型家庭教育支援

支援員が
家庭へ訪問
することで
信頼関係を
構築

訪問時に
家庭教育支援
の情報提供、
関係機関への
橋渡し

参加型の家庭教育支援

セミナータ
イプやサロ
ンタイプへ
の参加

地域や子育て
コミュニティ
で交流、主体
的に家庭教育
の学びに参加

子育て経験者として支援する側
にまわる
(循環型支援)



<令和元年度「全国家庭教育支援研究協議会」「家庭教育支援チーム」活動の推進に係る大臣表彰>

令和元年度「全国家庭教育支援研究協議会」

保護者に寄り添う “アウトリーチ型支援”の 普及・定着に向けて

※ここでは、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者の居場所(自宅や学校、乳幼児健診の場など)に向い、保護者に寄り添って行う家庭教育に関する支援一般を指します。

～子育てに関する保護者の悩みや不安を解消し、子供たちの健やかな育ちを支えるために～

家庭を取り巻く環境の変化(共働き家庭やひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化など)や、子供の育ちをめぐる課題(不登校、いじめ、児童虐待など)が顕在化する中、家庭教育に関する支援が届きにくい家庭への対応を充実するため、地域の実情に応じた“アウトリーチ型支援”の普及・定着に向けて、その意義や実施方法等を協議します。

なぜ今アウトリーチ?

何をどうやるの?

どんなことに
気をつけるの?

日時

令和2年

2月18日 火

10:00~16:15

場所 文部科学省
東館3階第1講堂

参加者 行政関係者、民間団体や
地域における関係者等

定員 300名

プログラム

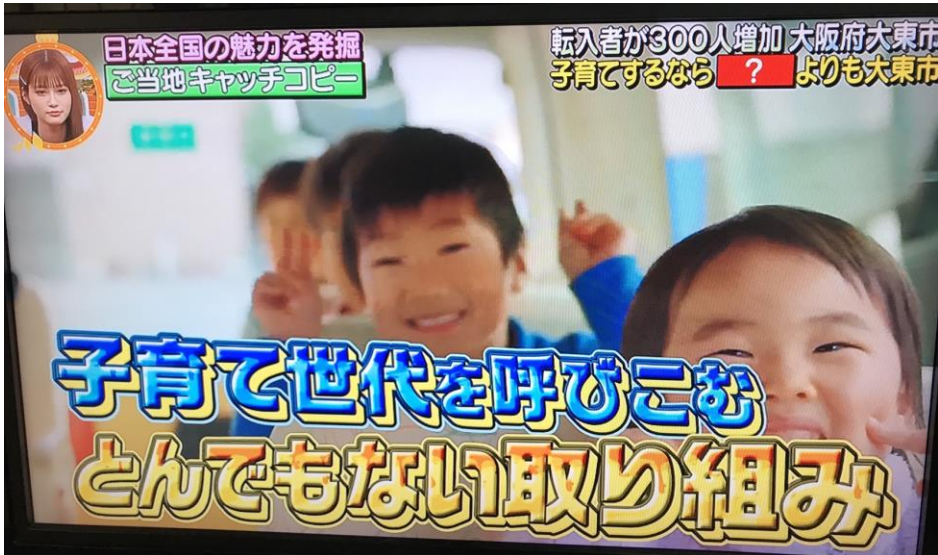
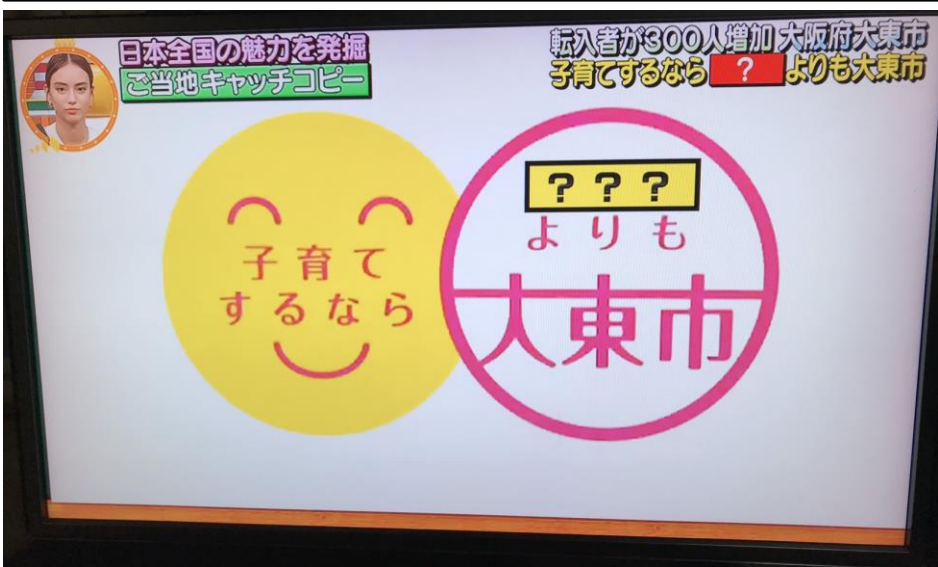
9:30	受付(表彰受賞者は、9:10~9:30)
10:00	開会
10:10	令和元年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る 文部科学大臣表彰
10:45	事例報告(80分)(具体的な取組事例を報告していただきます)
11:00	茨城県、山口県・岩国市、釧路市(北海道)、泉大津市(大阪府)、 瀬淡町(和歌山県)
12:20	昼食休憩
13:30	パネルディスカッション(60分) ('アウトリーチ型支援'の具体的な実施方法などを協議します)
13:30	【コーディネーター】
14:30	水野 達朗氏 (一社)家庭教育支援センターヘアレンツキャンプ代表理事
	【パネリスト】 事例報告を行った各自治体の関係者
14:45	ワークショップ(90分) (参加者全員がグループに分かれて、地域の実情に応じた“アウトリーチ 型支援”の実施方法などを協議します)
16:15	【ファシリテーター】 水野 達朗氏 (一社)家庭教育支援センターヘアレンツキャンプ代表理事
16:15	閉会

参加費
無料

申込方法
裏面参照



日本テレビ「ニノさん」で大東市の家庭教育支援チームが取り上げられる
(2020年10月22日放送)



<②いくカフェ事業への影響>

新型コロナウイルスの影響で通常の形でのいくカフェ開催ができなくなったため、**オンラインいくカフェ**を開催しました。

2020年度

大東市家庭教育支援チーム「つぼみ」

オンラインいくカフェを 7月31日に開催しました!

Zoomを使ってこんなこと、トークしました!

- Zoomを使ってこんなこと、トークしました!
- 時間を守るためにどんな工夫してる?
- 子どものゲームの使用時間は決める?
- 家庭でのルールってどんなこと?
- 食事にかかる時間、どうしてる?
- ご飯を食べない時は、どうしてる?

感想の一部を掲載させていただきます!

- ・悩みが共感したり、工夫に共感したり参考になった。
- ・子育てを楽しみながら、頑張りそう思う。
- ・途中からの参加だったかわかりやすく聞くことができた。
- ・子育ての悩みや不安が和らぐ場になると思う。
- ・交流の場がなかったのでもっと時間が過ぎた。
- ・もっと時間が欲しかった。等

参加してくださった皆様 ありがとうございます。
皆様からの感想やご意見を参考にさせていただきますながら、これからも一緒に子育てについて考えていけたらと思います。
次回の参加もお待ちしております。

【主催・問合せ先】大東市教育委員会事務局 教育政策室 家庭教育支援グループ
住所：大東市鞆町4番6号 TEL：072-800-7760（直通） FAX：072-872-2941
ぼっちりおめめの「つぼみ」ちゃんがいるよ、さがしてみてね。

2020年度

深野小・泉小・水野小校区
※3校以外でも希望があれば参加可

大東市家庭教育支援チーム「つぼみ」

オンライン いくカフェ

対象：子育て中の
保護者の方

定員 10名

※家庭教育支援チーム「つぼみ」の恒例企画「いくカフェ」がオンライン化!
保護者同士で、気軽なおしゃべりを楽しみませんか?
スクールソーシャルワーカーがサポートするので、お気軽にご応募ください。

こんなこと、トークしてみませんか?

- お父さんのお家で過ごす方について話ませんか!
- お家時間の過ごし方をどうしてる?

日時：9月25日(金)10:00~11:30
(途中10分休憩があります。)

途中退会や途中参加もOKです。

お待ちしております!

申込方法

参加に必要なもの

下記メールアドレスに参加者の名前(あるいはニックネーム)・お子さんの学年を入れて、申し込んでください。(定員を超えた場合は抽選となります。)
k_shien@city.daito.lg.jp

QRコードもご利用ください。

Zoomを使用できる環境
(あらかじめカメラ付PCもしくは、スマートフォンにZoomアプリをダウンロードし、正常に動作することをご確認していただき、参加していただきます。詳細は、返信メールにてお知らせします。)

【主催・問合せ先】大東市教育委員会事務局 教育政策室 家庭教育支援グループ
住所：大東市鞆町4番6号 TEL：072-800-7760（直通） FAX：072-872-2941
ぼっちりおめめの「つぼみ」ちゃんがいるよ、さがしてみてね。

コロナ禍だからこそ問われる家庭教育支援の重要性

コロナ禍においては、「つながり」が私たちの社会において重要かを認識する機会となりました。休校措置期間中は、保護者の家庭教育力が問われた期間となりました。

全国各地で組織化されている「家庭教育支援チーム」の目的は、コロナ禍であっても変わりません。その目的達成のための手法を再検討・再構築しつつ、親子の笑顔のために支援の灯を絶やすことなく、より家庭教育支援の輪が広がっていくことを願っています。



ご清聴ありがとうございました。

家庭教育支援の最前線

～これからを生き抜く子どもたちを育てる親が笑顔になる家庭教育とは～

1. 令和の家庭教育支援とは
2. 家庭教育支援とは何か
3. 家庭教育支援の手法
4. 今注目されている家庭教育支援チーム



山下 真理子

お気軽に友だち申請または
フォローしてくださいね。

支援内容・書籍・講演等のお問い合わせに関して

詳細は当センターのHPをご参照ください ▶

ペアレンツキャンプ

検索